# ニュースリリース

**ロータリーの会長に
K.R. ラビンドラン氏（スリランカ）が就任**

120万の会員に「知識とスキルと人力を世界の地域社会のために生かしていこう」

**米国イリノイ州エバンストン（2015年7月1日）：**全世界で地域社会の発展に取り組んでいる団体、ロータリーの会長にK.R. ラビンドラン氏が就任しました。スリランカ出身のラビンドラン氏は、2016年6月まで[国際ロータリー](http://www.rotary.org/ja/)の会長を務めます。

コロンボ・ロータリークラブの会員である[ラビンドラン氏](https://www.rotary.org/ja/ravindran-choice-2015-16-ri-president)は、ロータリーが世界中でさらに社会貢献ができるよう、もっと多くの人びとにロータリーに参加してもらうことを目標としています。

ロータリーは、都市部で食糧バンクを支援したり、町から遠く離れた村できれいな飲み水を提供したりするなど大規模で持続性のあるプロジェクトを行っているほか、世界各地にあるロータリークラブを通じて、自然災害への対応にも力を入れています。

2011年の東日本大震災の後には、被災者に救援物資を送るだけでなく、その後の長期的な復興を支援するための大規模なプロジェクトも実施しています。

さらに今年、ネパールを襲った大地震でも、真っ先に支援に駆けつけた人たちの中に、多くのロータリー会員がいました。シンガポールやインドのロータリークラブは、医療チームを派遣。ロータリーはその直後、救援物資が入った『シェルターボックス』、防水シート、テントなどを現地に届けました。ロータリーはさらに、家を失った数百万人のために数千万円相当に上る募金を集めました。

「いずれ報道陣が次のニュースを追って被災地からいなくなっても、ロータリーは粘り強く地域の復興を助けていきます」と語るラビンドラン氏。2004年、インド洋の大津波で壊滅的な打撃を受けたスリランカで、自ら22の学校の再建プロジェクトの中心的役割を果たし、その結果15,000人の子どもたちの教育を支援した経験があります。

**ロータリーとポリオ**

ロータリーは世界からポリオをなくすことを最優先課題としています。主に子どもたちを生涯続く身体麻痺、時には死に追いやるこの病気をなくすため、世界保健機関（WHO）、米国疾病対策センター（CDC）、ユニセフ、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団、さらには世界各国政府と協力し、1988年以来、[世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）](http://www.polioeradication.org/)の主要パートナー団体となっています。

ロータリーは主に、政府への働きかけ、募金活動、ボランティア動員に力を入れています。すでに14億米ドルを超える募金を集め、撲滅活動には膨大な数のボランティアを投入しています。

スリランカを本部とする紅茶製品の大手企業、「プリントケア」の創始者であるラビンドラン氏は、ほかのロータリー会員、ユニセフ、政府と協力し、母国でのポリオ撲滅活動を指揮して、スリランカをアジアで最初のポリオのない国とした実績があります。全国でポリオの予防接種を実施できるよう、協力団体とともに武装勢力と交渉して、1日停戦の実現にも貢献しました。

**ポリオの現状**

現在、世界で野性ポリオウイルスの感染が続いている国はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国。感染例は、2014年、世界で370件を下回っています。1980年代には毎日1,000件以上の感染がありましたが、これで感染数は99.9％減ったことになります。

**ロータリーについて**

世界200以上の国と地域、34,000のクラブに120万人の会員がいる世界的ネットワーク、ロータリーは、草の根の奉仕活動から国際規模のプロジェクトまで、さまざまな人道的問題に取り組んでいます。詳しくは、ロータリーのウェブサイト（[Rotary.org/ja](http://www.rotary.org/ja).）から。ロータリーに関する高解像度のビデオや写真は「[The Newsmarket](http://www.thenewsmarket.com/rotaryinternational)」から。

###

**連絡とお問い合わせ**

Howard Chang（電話：1-847-866-3408、Eメール：Howard.chang@rotary.org）